

## 台風21号の影響

松山から鮮度抜群の鮮魚を全国の皆様にお届けする嶋矢水産です。

最近稀にみない規模の最強の勢力で直撃した台風によって、近畿地方周辺に甚大な被害をもたらしたのはご存知だと思います。

特に、西日本の物流の拠点となっている関西空港の被災したことで、さまざまな所にも影響が出てしまいました。

戸高水産所属の盛漁丸もその一つです。台風シーズンに運搬する時は、航海途中の港に寄港し一時避難をします。今回も大分県から大阪に向かう途中であった為、松山港で待機していました。今回の台風で関西空港着の荷物が停止した為、輸入のサーモンも成田での着荷となり、運賃が高騰しました。やはり、身近な所にも影響が出てきました。



## 鯛の歴史と鯛の七つ道具

今年に入ってから連載させて頂いている鯛の骨の話です。タイの図の中で表した①は、鯛中鯛（タイチュウタイ）と呼ばれる骨で、魚好きの方には、良くご存知なことだと思います。名前通りに鯛の形をしている骨です。

②は大龍（ダイリュウ）両目の少し前にある龍の形のような骨です。③は小龍（ショウリュウ）尾骨の下にある龍の頭に似ている骨です。④は三つ道具、後頭部の背にある3本の骨で、それぞれが鍬の形によく似ています。⑤は鯛石と言って、ギザギザとした円形の平の形状で聴覚器官にある耳石のことです。

た、⑥以降の骨の情報については、次号でお伝えいたします。



## 天然魚の生簀を新設中

現在、嶋矢水産で所有している海面生け簀の老朽化が進んでいる為、天然魚蓄養用の物を新設しています。今、使用している生簀は約20年位前に造った為、所々で腐食が目立ち始めてしまっていたのです。

木造造りの為、20年ほどが限界なのです。木造の生簀の利点としては、コストが安く、製造を比較的簡単に建設できる点にあります。更に、廃棄する際も簡単である為、環境にも優しい点があります。生簀の設置と同時に、網も新調します。

やはり、魚を備蓄する際に、一番重要なものとなる為、網が汚れていると蓄養魚にも悪い影響がでてしまいます。

新調した生簀の様子については次回のだんだん便りの中で、お伝えすることができます。



## 瀬戸内の9月はかます

瀬戸内の9月旬の魚を代表する魚の一つにカマスが挙げられます。

カマスは見た目がスマートで、目が大きく愛らしい風貌ですが、魚食性で集団で行動する獰猛な魚の一つです。口の中には鋭い歯を持ち、高速で泳ぎます。カマスは大きな口が穀物などを入れるムシロを2つ折りにして作ったカマス袋の口に似ていることからカマスという名前になったそうです。

カマスは魚にしては、珍しくビタミン類が多く、カルシウムとカリウムのミネラルも豊富に含まれています。身は水分が多いので、一夜干し等の焼物に加工するのが一般的です。鮮度が良ければ昆布メなどで調理するのもおススメです。フライやソテーなどの洋食にも合います。

